

福井県脳外傷友の会  
(福井県高次脳機能障害者と家族の会)

ふくわらい  
**福笑井**

第 20 号

2018 年 10 月 10 日発行

福井県脳外傷友の会

「福(笑)井」事務局

## 第 11 回総会開催

平成 30 年 4 月 22 日(日)円山公民館にて

会長 村下 恵美子

1 年 (12 か月) の早いこと! 皆さんも同じですか?  
1 年が早く過ぎるように感じる訳について. . . .

50 歳の人にとって 1 年の長さは、人生の 50 分の 1 程であるが、5 歳の子にとっては 5 分の 1 に相当する。  
50 歳の 1 年は 50 年分の 1 年 < 5 歳の 1 年は 5 年分の 1 年



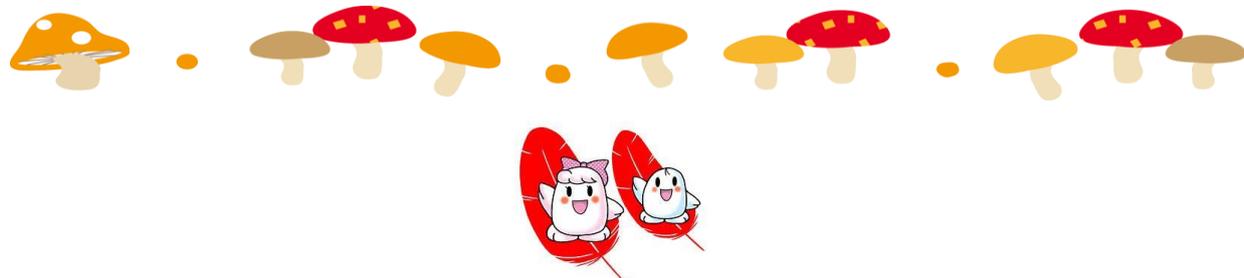
分かったような分からないような気がしますが、私の場合は本当にあつという間に 1 年が経ち、総会の時期がやってきます。

福笑井も早 11 回目の総会を行いました。たくさんの参加者で総勢 60 名くらいにもなり、とてもぎやかに盛り上がりました。会員の作ってきてくれた季節を感じるうぐいす餅で抹茶を頂き、ホッと一息入れながら雑談に花が咲きました。和菓子を作ることができるなんて憧れますよね。とてもおいしかったです。

今年も来賓として県の土屋様と、顧問弁護士の山本様よりお言葉を頂きました。山本弁護士様は、いつも福笑井の活動を褒めてくださいます。いつも応援して下さる事に本当に感謝しております。所用で欠席だった小林先生からのお言葉は、中島コーディネーターが代読して下さいました。支援センタースタッフの方やボランティアの学生さんなど、たくさんの皆様に支えられての会だと痛感しています。

そして、福笑井としましても、いろいろな年間の行事を行いながらお互いに交流を深めていき、仲間同士じゃないと分かり合えない絆でつながられればと思います。あの会へ行けば、グチを聞いてもらえる、心が楽になる。仲間がいるんだと思ってもらえる居場所作りを考えています。

今回はパン販売もあり、役員の皆さんはとても忙しかったと思います。お疲れさまでした。役員の皆さんや会員の皆さんでこれからも楽しい会であります様に協力していきましょうね。



## 6月例会

平成30年6月23日(土)～24日(日)

今年の6月例会は、昨年に引き続き第2弾「陶芸教室」と初の試み「宿泊交流会」、2日目は講演会でした。

6月23日(土)午後から梅雨空の中、越前陶芸村において、陶芸教室が赤い羽根共同募金の行事として開催されました。昨年は施設内が広すぎて場所がわかりにくかったため、OHさんが駐車場案内用に「福笑井」と書かれた大きなプラカードを作ってください、ONさんと一緒に駐車場で誘導係をしてくださいました。アイディアマンに感謝です！

昨年も参加された方も多く皆さん要領を得ていて、早々と制作に取りかかっていました。私達も昨年とは違った物を作ろうと、主人は抹茶碗、私は小さな花器にチャレンジしました。でも焼き上がってくると、花器は思っていたより小振りで、抹茶碗はことのほか分厚く重くて、ちょっと実用性に欠けるなあと反省しきりです。(まあそれなりに使うとしましょう)

Hさんが作っておられた犬がどんな作品になったか、機会があれば是非見せてくださいね！例会で持ち寄り、作品展をしてはどうでしょうか？



できあがりは  
こ～んな感じ



福井県陶芸館(越前陶芸村)にて

陶芸の後は、「しきぶ温泉湯楽里（ゆらり）」に会場を移し、会員 16 名が温泉と夕食を楽しみました。夕食後、参加者全員が病気や事故、高次脳機能障害を負うまでの経緯や今現在の思いなど赤裸々に語り合い、家族会みんなのそれぞれの気持ちを共有しました。このように話をする場は今まであるようでありなかつた事だったので、大変貴重な時間でした。

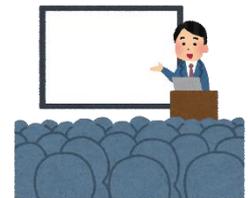
翌日は、高次脳機能障害当事者でもある小林春彦氏を迎えて、講演会が開かれました。当日の参加者を含め約 30 名が 2 時間、話に耳を傾けました。

小林さんは、いくつものパワーポイントを提示しながら、ご自身の体験を基に障がい者と社会のつながりについて話をされました。

また、「18 歳のビッグバン 見えない障害を抱えて生きるということ」の本も出版されているので、是非ご一読を！



## リハビリ講習会に参加して



今年も福井県高次脳機能障害リハビリ講習会が 7 月 14 日(土曜日)新田塚ハウスにおいて行なわれました。

講師は、高次脳機能障害の子供を持つ家族の会「ハイリハキッズ」代表 中村千穂さんと帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科の中村恵子教授でした。講師の中村千穂さんは、笑顔いっぱいの元気なお母さんです。

講演の内容は、「あの日」を境に変わってしまった我が子。その日から始まった苦悩や語り尽くせない程のどん底の日々…リハビリが始まってからの葛藤などを切々と語っておられ、私も胸が詰まりました。

福笑井の会員も 皆さんそれぞれの事情を抱えています。そんな事を鑑みながら聴いていると、叫びにも似た中村さんの講演は 当事者と共に生き、乗り越えていこうとする私達家族にしか共感出来得ないかもしれないと思いました。

続いて 中島恵子先生の講演は、神経心理学的 脳神経学的な見地から ④脳を細分化し、損傷した脳を特定して 損傷によって起こる症状 機能障害を、健全な部分の脳を使って如何にアプローチし回復に導くのか。という興味深い内容でした。そんなリハビリをスライドを使いながら、わかりやすくお話しして下さいました。

私は福笑井のパン販売④をしていたので、全ての講演を聴けませんでした。土曜日の午後、眠気も吹き飛ばすような濃い内容のリハビリ講習会でした。

## 8月例会



8月26日（日）

「長〜い太巻き寿司を作ろう！」

ボランティアの学生さんを含む会員28名が参加し、長さ1メートル近くある長い太巻き寿司を作りました。巻きすは何と、窓用のすだれを使い（もちろん新品！）3〜4人がかりで、焼き海苔の上に酢飯を広げ、卵やかんぴょう、きゅうり、しょうがの甘炊きの具材を芯にして巻きました。太巻き寿司を作るのが初めての会員や手慣れた主婦、男性だけのグループありと、3つのグループに分かれ、それぞれ協力しながら、寿司屋の巻き寿司にも負けないくらいの（？）出来映えになりました。



**さすが！！慣れた手つきです。**



**男性陣、奮闘しています！！**



**自家製ミョウガ入りのおいしいお吸い物**



**お店にも負けない美しい太巻き！！**



**みんなでいただく巻き寿司は最高！！**

午後からは、パコーン作りです。和太鼓講師の山内さんに教えていただき、一人一人の思いを込めて作りあげました。完成が楽しみです。



段ボールの切れ端を筆にして…一気に！



このあたりに、貼るといいですよ♪



自分の名前一字入れて、想いは一つ！オリジナルの音が出せますように ♡ ♡  
出来上がりが皆さん楽しみです。  
3年後の全国大会に向けてパコーン演奏練習がんばりまーす。



パコーン作りと陶芸教室は今年度の赤い羽根共同募金助成金の行事の一つです。助成金の中で各自マイパコーンや陶芸作品を作りました。色とりどりの個性的なものに仕上がりましたね。

この事業は、赤い羽根共同募金の助成を受けています。



## お知らせ

会員の田中芳雄様が、平成30年8月21日に亡くなられました。  
ご冥福をお祈り申し上げます。

奥様のお言葉です。

ご遺影の写真は会へ来られていた時と同じ良いお顔ですねと村下が言うと、以前に二人で写真屋さんで撮ってきた写真です。この写真を見るにつけ、行った時に話したことや寄り道したこと、食事をしたこと等思い出されて写真を撮っておいて良かったなと思っています。

今になると、もっとそんな思い出を作っておけばよかったなと思います。

皆さんはどうぞ一緒にいる時間をいっぱい作ってくださいネと、ご自分に言い聞かせる様におっしゃってました。

胸にせまる言葉ですね・・・。

又、福笑井からのハガキを楽しみにしていました。自分達で出かけることはだんだん少なくなりましたが、外へ出るきっかけを作ってくれた会には入って良かったです。感謝しています。

という、嬉しいお言葉も頂きました。

## ❀ 会員募集中!!! ❀

「福笑井」は、高次脳機能障害者および家族が、生き生きとした生活ができるよう、福利と親睦を図り、社会に対して働きかけ、高次脳機能障害について理解を広めることを目的として作られた会です。

皆様の入会、応援、ご協力をお待ちしています。

年会費 正会員家族：3600円 賛助会員：2000円

(できるだけ4月総会時にご入金ください。)